



コメント：今年は寅年。昨年挑戦できなかったことにトライしてみましょう!!!

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❖ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❖ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❖ かかりつけ医との連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



赤磐医師会病院

赤磐医師会

新年挨拶 謹賀

公益社団法人赤磐医師会 会長 滝澤 貴昭



新年明けましておめでとうございます。赤磐医師会病院は赤磐市・岡山市東部を中心に、東備・美作圏域まで含めた広域な地域医療の要として病院職員・医師会員達が一丸となって住民の皆様へ安心をお届けするべく頑張っている病院です。

新型コロナ禍にあっては、発熱患者様の検査、新型コロナと診断され保健所から要請のあった方々の入院治療にあたり、さらに今後は一泊二日での抗体カクテル療法に関しても、地域の拠点病院としての役割を担っていく予定です。

去年は、赤磐市の設置したワクチン集団接種会場だけでは、予約がオーバーフローになるとの情報を得て、速やかに医師会病院での追加集団接種を開始しました。職域接種も含めて、多数の職員も休日返上で協力させていただきました。今年も引き続き協力をさせていただきたく予定です。

そのように非日常的な診療が余儀なくされた中でも、通常の外来・入院診療はもちろん、検診や救急車による急患の受け入れなどにも極力支障を来さないように、病院医師・職員が努力してまいりました。ご入院された方についてはご家族の面会制限など、お辛いことも多かったとは思いますが、皆様にご理解をいただき感謝しております。さて、新型コロナ禍が始まってから、全国的に日曜・祝日の当番医制度の問題点が指摘されることとなりました。新規の開業医は都心部に集中する傾向があり、郡部ほど開業医の高齢化率が高くなり、廃院されることも増えています。また医師自身や職員が新型コロナをうつされてしまうのではないかと、発熱患者様への対応の不安などもあり、当番医の辞退が相次ぐ現象が全国的に問題となりました。赤磐医師会でも同様の不安があったため、住民の健康と安心を守らねばならないとの使命感のもと、一昨年11月から医師会病院の一角に当番医が出務できるスペースを設け、「あかいわ☆瀬戸休日内科診療所」を開設し、医師会員の開業医や看護師などが交替で出務しています。常設ではありませんが、7～8割程度の休日には開いており、利用者様も徐々に増えています。精密検査が必要な方や、入院治療が必要な方は、当番医が医師会病院の日直医に連絡を取り、スムーズに検査や入院に移行できる体制は、赤磐方式ならではの自負しています。まだ薬剤処方についてご不便をおかけする事が続いています。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。実は、赤磐市・岡山市の休日当番医制度については、行政から一日に二万五千元ほどの補助金が出されていますが、医師・看護師・事務職など複数のスタッフが待機しているため、受診患者数が少ないと、その医療費・診療報酬はとても少なく、人件費と維持費は補助金では到底補填できないほどの赤字となっています。この制度は何十年も前から医師会で引き継がれたものであり、開業医たちは皆強い使命感のもと、ボランティア精神で継続しています。忙しかろうが、暇であろうが、職員には代休を与えますが、医師は基本的には前後の平日に休診するわけにはいかないので、二週間休みなく働いていることとなります。一方で、まだインフルエンザやウイルス性嘔吐下痢症の流行は経験していませんが、そのような季節性疾患が流行ると、診療体制はパンクしてしまう懸念もあります。未長く当番医制度を維持するために医師会員・病院職員が知恵を絞って改善を試みている最中ですので、温かく見守っていただければ幸いです。

より一層、地域の皆様へ信頼される病院となれるよう、病院職員・医師会員一同が協力し努力して参るつもりですので、ご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



新年



赤磐医師会病院 院長 佐藤 敦彦



皆様、新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスとの長い闘いの日々もかれこれ3年目に突入しました。思えば、中国・武漢に始まった当初はその終息にこれ程までに時間がかかると予想した研究者は少なかったのではないのでしょうか？

当院は新型コロナウイルス感染症の患者受け入れ病院としての役割を果たすため、昨年は第3波～第5波にかけて計三十数名の入院患者の受け入れや治療に当たって参りました。スタッフは自らの感染リスクに正面から向き合いながら、懸命に治療や看護に当たり、多くの患者様に無事退院して頂くことができました。それは、大きな達成感を得ることができた反面、流行のピーク時には連日の入院要請があったり、重症化して高次医療機関へ転送せざるを得なかった事例が発生したりするなど、多忙を極めた時期もありました。

幸い、現在はデルタ株によって引き起こされた第5波は急速に収束しており、落ち着いた状態を維持できています。収束の正確な理由はまだ解明されていませんが、現時点で日本国内ではデルタ株に対する集団免疫が成立していると考えられており、それにはワクチン接種率の向上が大きく貢献していることは疑う余地がありません。

既に海外ではデルタ株よりも感染力の強いオミクロン株の流行が世界中で確認されており、日本においても再流行するのは時間の問題と考えられます。回避できないと予測される第6波の感染状況を少しでも改善するためには、ワクチンの追加接種や感染対策の継続などにより、集団免疫状態を少しでも長く、かつ良質に維持することがとても重要です。ワクチン接種は自己責任のもとで実施されますが、多くの人々が感染しにくい社会環境を作り出すためにも、地域住民の皆様方には積極的に追加接種にご協力頂きたいと思っております。

当院は今年度も、ワクチン接種会場の開設など、地域の新型コロナワクチン接種率の向上のために最大限の協力をしつつ、入院受け入れ医療機関としての責務も果たしていく所存ですので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

永年勤続者表彰

平成3年、平成13年の入職より、
永年の勤続、大変おめでとうございます。
今後も後進のご指導に一層ご尽力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

勤続30年

- ★ 青山 洋子 (副看護部長)
- ★ 中島 洋二 (薬剤科長)
- ★ 塩見 和枝 (事務部地域医療連携室)

勤続20年

- ★ 遠藤 利香 (外来看護師)
- ★ 石野 葉子 (外来看護師)
- ★ 三浦 速人 (事務部医事課)
- ★ 脇坂 明美 (事務部地域医療連携室)

常勤内科医師
しおいり りさこ
塩入 理沙子

- ①内科医師(腎臓)
- ②子供の動画を撮影すること
- ③旅行 ④渋滞
- ⑤今は我が子が1番です!!!



常勤内科医師
まえだ めぐみ
前田 恵実

- ①内科医師(糖尿病)
- ②ドライブ
- ③読書、漫画
- ④レバー
- ⑤米津玄師



リハビリテーション科
しみず りょうすけ
清水 亮祐

- ①理学療法士
- ②ピアノ
- ③スポーツ カラオケ ギター
- ④激辛ペヤング
- ⑤Mr.Children



みなさんよろしくお願ひします。

★新人紹介★

新しく仲間になった皆さんに
質問をしてみました。

-
- ①職種
 - ②マイブーム
 - ③好きなこと・もの
 - ④嫌いなこと・もの
 - ⑤好きなタレント



臨床工学科
おの まいな
小野 舞菜

- ①臨床工学技士
- ②YouTubeを見ること
- ③お菓子 ④ホラー映画
- ⑤鈴木亮平



栄養科
ほそぎ かおる
細木 香保瑠

- ①管理栄養士
- ②部屋のインテリアを考える
- ③映画
- ④梅干し
- ⑤有村架純



事務・医事課
すぎやま まさあき
杉山 昌聡

- ①医事課 ②日本酒
ファジアーノ岡山 藤井風
- ③揚げかき餅(山本製菓)
- ④特になし
- ⑤万波中正(日本ハム)



PEG委員会より

経管栄養チューブの様式変更について

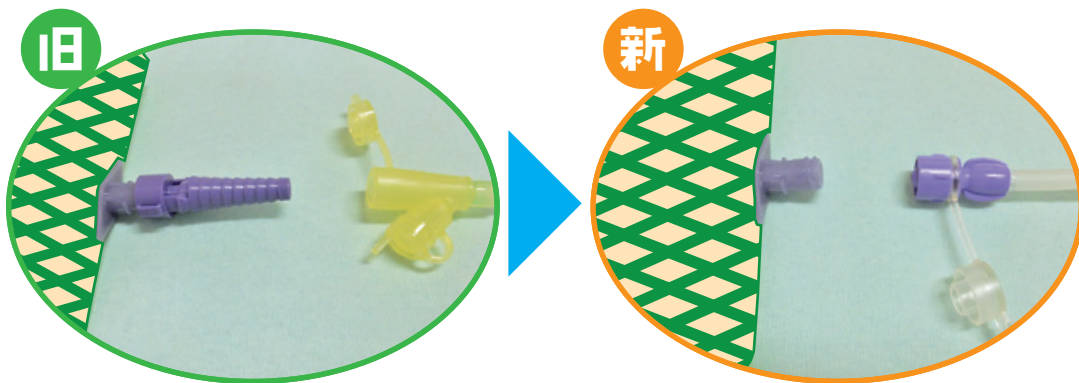
様々な病気で、経管栄養(胃瘻や鼻から胃の中へ管をいれて流動食を注入すること)を続けている方がおられます。当院でも、当院近隣の様々な施設でも、また在宅でもこのような方がたくさんいらっしゃいます。この度、この栄養注入のチューブの先端の形状が、厚生労働省の指導のもと国際規格にあわせて全国一斉変更されました。

注射や点滴などのチューブと混同してしまわないように(栄養剤がまちがって、注射の管につながったりすることのないように)するための変更です。これらの器具の製造メーカーも一斉に製造変更を指示されました。事故を防ぐための取り組みではありますが、急速な一斉変更であったので、全国の現場で混乱を招きかねないこととなりました。



関係学会からの働きかけもあり、猶予期間がもうけられましたが、周知の日数も少ないまま猶予移行期間の終了した感があります。当院でも昨年早期から対応をして、当院受診をされた方、継続通院されている方、また平素交流のある施設の方など、それぞれ個別に丁寧に説明、対応をさせていただいております。しかし、なかなかご存知ない方も多いので、この機会に再度ご案内させていただきます。

ここが変わりました!!



お困りの方がおられましたら、
お気軽にご相談ください。



赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表

令和4年1月1日現在

	月	火	水	木	金	土
外来診療・健康診断	内科一診(再診)	柚木 直子	平井 通雄	柚木 直子	平井 通雄	きやま けんた
	内科二診(初診)	梅川 剛	牧田 雅典	吉井 将哲	瀧川 雄貴	担当医
	内科三診(再診)	塩入理沙子	佐藤 敦彦		前田 恵実	
	内科午前(予約外来)	灘 隆宏(予約制)		友田 純(予約制)		
	内科午後(予約外来)	佐藤 敦彦(予約制)				おおむら だいすけ 大村 大輔
	外科	内田 卓之	宮木 功次	内田 卓之	内田 卓之	みやぎ こうじ 宮木 功次 はすおか ひであき 蓮岡 英明(第3)
	整形外科	かたやま のぶあき 片山 信昭	※1 おした りょう 尾下 遼	かたやま のぶあき 片山 信昭		かたやま のぶあき 片山 信昭 おした りょう 尾下 遼
	リウマチ外来(予約・紹介制)		※2 かたやま のぶあき 片山 信昭			
	上肢・手の外科(予約制)				※3 いまたに じゅんや 今谷 潤也	休診
	泌尿器科			※4 わたなべ ともみ 渡部 智文		わたなべ とよひこ 渡邊 豊彦
	呼吸器内科(予約・紹介制)		くどうけんいちろう 工藤健一郎	ふじわら けいいち 藤原 慶一	まつお きよし 松尾 潔	
	呼吸器外科(予約・紹介制)					かたおか まさふみ 片岡 正文 (第1・2・4・5)
	糖尿病内科(予約・紹介制)	※5 おおみや てるあき 大宮 照明	※6 おかざき さとる 岡崎 悟	※7 まえだ ひでのり 前田 英紀		まえだ ひでのり 前田 英紀
	循環器内科(予約・紹介制)	かねざわ みさき 兼澤 弥咲	※8 もり あつし 森 淳史 あかぎ さとし 赤木 達		※9 あかぎ さとし 赤木 達	
	腎臓内科(予約・紹介制)		おおみや てるあき 大宮 照明			
膠原病内科(予約・紹介制)		※10 かつやま えり 勝山 恵理				
脳神経内科(予約制)				ささき しょう 佐々木 諒		
健康診断	ひらい みちお 平井 通雄	くさち しょうぞう 草地 省蔵	よねい じろう 米井 二郎	にのみや たけひろ 二ノ宮 壮広	ともだ じゅん 友田 純	(第1) くさち しょうぞう 草地 省蔵 (第3) 担当医

診療受付時間：午前8時30分～午前11時

整形外科	※1 火曜日	午後1時～午後3時
リウマチ外来	※2 火曜日	午後1時～午後3時
上肢・手の外科	※3 木曜日	午前9時30分～午前11時
泌尿器科	※4 水曜日	午前8時30分～午前12時
糖尿病内科	※5 月・火・水曜日	午後2時～午後4時
循環器内科	※6 火曜日	午前8時30分～午前11時 午後2時～午後4時
	※7 木曜日	午前8時30分～午前11時 午後1時30分～午後4時
膠原病内科	※8 火曜日	午後1時30分～午後4時

※都合により休診になることがあります。

あとかぎ

- コ ミュニケーション(対話)
- ス マイル(笑顔)
- モ ビリティ(機敏性)
- ス キル(技術)

新年あけましておめでとうございます。
 まだまだコロナの話題が続く日々です。
 今年もマスク・手洗い・うがいを徹底しますが、
 昨年までの2年間出来なかったことが、
 ひとつでも出来る年にしていきたいです。
 2022年が皆様におかれまして
 素敵な1年となりますように。
 (編集部：塩見)

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1
 TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946
 HP <https://www.akaiwa-mah.jp/>
 発行日 令和4年1月15日

